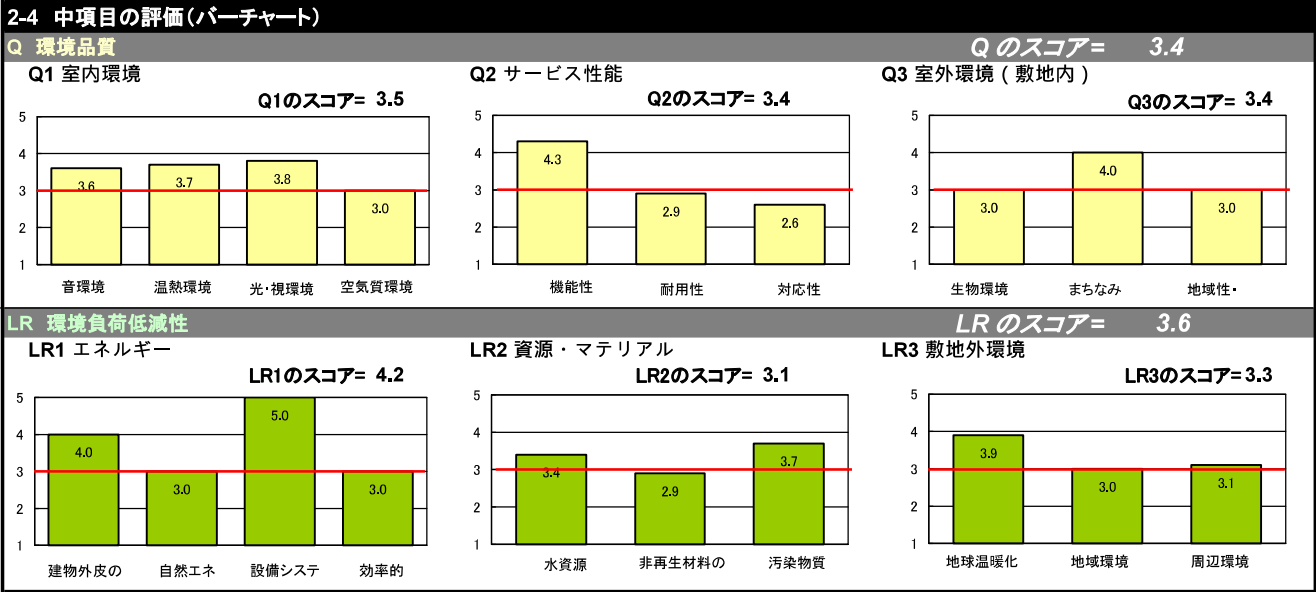
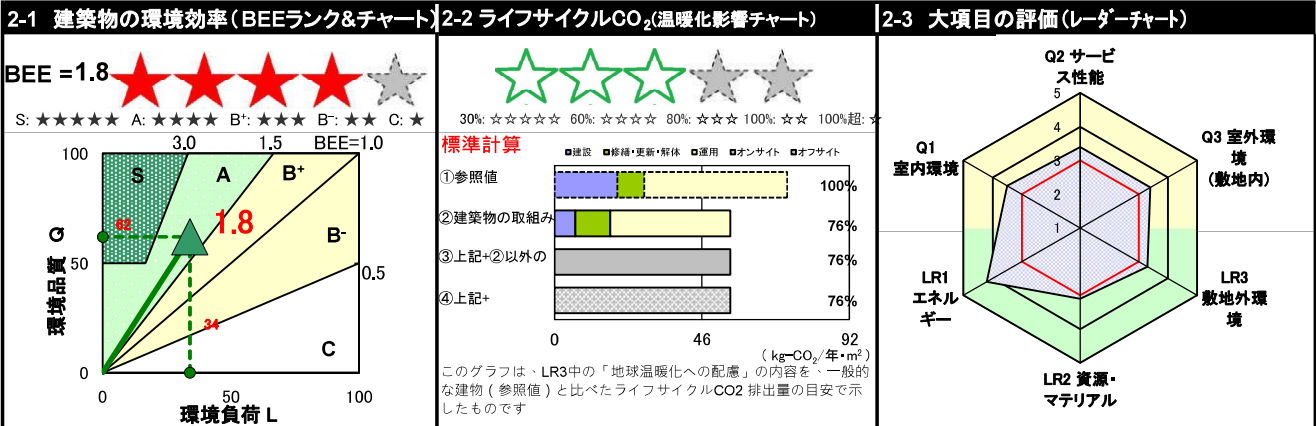


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ワコーレ伊丹5丁目マンション新築工事	階数	地上5階
建設地	兵庫県伊丹市伊丹5丁目677番、678番1	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域、旧大坂道都市景観形成道路地区	平均居住人員	121 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年9月 予定	評価の実施日	2024年5月16日
敷地面積	1,368 m ²	作成者	岡田磨
建築面積	663 m ²	確認日	2024年5月17日
延床面積	2,548 m ²	確認者	岡田磨



3 設計上の配慮事項		
総合 当該敷地は旧大坂道沿道に位置することを踏まえ歴史的な街並みを構成する建物のひとつとして、街並みと親和性のある意匠を考慮した。沿道のバルコニーは消防活動を助けるとともに格子の意匠を施した。加えて2階部分は壁の高さを抑え、いぶしの瓦葺木を用いることで通りの連続性にも配慮すると共に圧迫感を軽減できるよう建物と道路の間には植栽帯を設けた。通りを居住者のみならず、通りを取巻く多くの方に親しまれる建物を目指した。		
その他 当該建築計画では、55㎡台～100㎡台までの様々な住戸タイプを設けることおよび、1階住戸には、専用庭を設けることで多種多様な家庭のニーズに合う共同住宅となるよう考慮した。		
Q1 室内環境 遮音・断熱性能に配慮した。 住戸部分の全てのサッシは遮音性のT-1、断熱性能H-2とした。	Q2 サービス性能 対象とはならないが駐車場の台数を設置義務台数より多く確保した。 また、バイク置き場も敷地内に設けている。	Q3 室外環境(敷地内) 周囲の建物は戸建住宅・共同住宅が多く近隣には学校も在ることから、シンプルな形状と色彩を施した建物とすることとした。また、建物ボリュームは隣接の建物よりは大きいのが、周辺の共同住宅とは大きな差異はなく周辺の調和に配慮した。
LR1 エネルギー 照明計画等の設備システムの高効率化に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 有害物質を含まない材料など、低環境負荷を利用した。 また、躯体と仕上げ材、内装材と設備を容易に分別可能とした。	LR3 敷地外環境 敷地外環境へ悪影響を与えないために、各種基準を満たすよう配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される